

市民と議会の意見交換会の概要

開催日時	平成29年10月24日（火）午前10時00分～午前11時30分
会 場	人吉市役所仮本庁舎3階 議会運営委員会室
出席議員	【委員長】 高瀬堅一（統括・座長） 【副委員長】 永山芳宏（司会者） 【委員】 田中 哲、三倉美千子、井上光浩、塩見寿子（記録者）
団体名	人吉市老人クラブ連合会
参加人数	7名
テーマ	持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について
意見交換会の概要	<p>まず、三倉老人クラブ連合会会長、高瀬厚生委員会委員長が挨拶を行い、各自自己紹介を行いました。</p> <p>その後、意見交換へと移り、老人クラブ連合会会長から高齢社会に対応する市老連と行政の連携についての説明を受けました。</p> <p>説明後、議員から「行政と市老連との間で連携がとれているのか」「老人クラブに求めるものが年代別に傾向があるのか」「老人福祉センターの委託はうまくいっているのか」など質問がありました。</p> <p>これに対し、老人クラブ連合会から、「老人会の例会の講座は健康講座と決まっている傾向がある。違う方向の講座も用意してほしい」「出前講座を活用する方法もある。そのような固定観念は、老人会だから医療福祉、懇談は厚生委員会というところにも表れている」「60代はゼロ、70代はいるかどうか、80代から入る人が多い」「老人会の会議は月初めに市、それを受けて校区、さらに単老と会議はきっちりしている。構成員は全員活動ができる人ではない。半数は自分のことがやっという実態」「活動内容のシルバーヘルパーは、訪問して感謝される。くたびれた人も安心して入ってよいところが老人会だ」「老人福祉センターは月ごとの目標は達成できた。ミニサロンの課題は、ある人は有償ボランティアで無償ボランティアの人もおられる」ことなど老人会の実態についても発言がありました。</p> <p>次に、「入会者が少なく会員減少の現状について会員を増強するには」のテーマに移りました。老人クラブ連合会会長から、会員が減少し役員の引き受け手がいないために休会中の老人会もあることが話されました。</p> <p>議員からの「地元の行事や町内の行事には協力するが、市の行事には出ていきたくない声があるのでは」との意見に対し、「行事は極力減ら</p>

している」と説明がありました。

最後に、参加者からの次のような意見・要望が出されました。

「介護保険がパンク状態で地域支援事業の必要を認識すべきではないか」「高齢化が進んでいるのに地域支援事業のテンポが遅すぎる」「公務員を退職した人が老人会に入ってほしい」「税収を上げて住民負担を軽くしてほしい。サロンに出て健康寿命を延ばそう」

また、ここでは人吉市の健康寿命や特定健診の問題について意見交換を行いました。

また、「予約タクシーや乗合タクシーなど市が努力しているのはわかるが、年を取ると電話が億劫で耳も遠くなっている。昔のような時間が決まっているやり方にできないか」「全国的な傾向はドア・ツー・ドアである」など、乗合タクシーの実証実験の問題も出されました。

議員から、会合の場などで挨拶の時に老人会加入や特定健診について触れること、今後とも意見交換の場を持っていくことを確認して、閉会しました。